



安曇野ふるさとづくり応援団

パートナ一通信 安曇野

2019.7.2
第52号

【発行：NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団】

〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2 (有) ライフポート安曇野内

TEL 0263-81-1325 FAX 063-81-1280 URL azumino-furusato.com

みみより情報① さとやま楽校～案内人の教室

国営アルプスあづみの公園との共催で毎年開催されている「案内人の教室」から、受講生募集のお知らせです。今年度も9月から11月まで、計5回の連続講座として実施します。教室では地域を知る・理解するうえで大切な風景の見方・捉え方を学び、どうやって人に安曇野の魅力を伝えるか・楽しんでもらえるかを考える実践講座となっています。

「誰かを案内する」を意識すると見慣れた風景もまた違ったものを感じられたり、地域文化を学ぶ上でも新しい視点を持つことができるようになります。受講生募集のお知らせは別途ご案内させていただきますので、案内人活動に関心あるかただけでなく、安曇野の魅力をまた違った視点で学んでみたいと思われる方は、ぜひ教室にご参加ください。(高)【別紙参照】



みみより情報② 安曇野暮らしセミナー

ふるさと応援団も参加している安曇野暮らし支援協議会は、7月14日に「安曇野暮らしセミナー」を東京都武蔵野市の武蔵野市民会館、地階集会室において開催します。時間は午後1時から。「地域コミュニティ」「子育て支援」「安曇野市の基幹産業と就労支援」「不動産の選び方」についての項目でセミナーを行った後、「個別相談会」を開き、来場者の相談に対応します。

定員は50名。ふるさと応援団からも理事3名、会員2名の計5名が参加予定です。安曇野への移住に興味を持っている方にぜひお声掛けをお願いいたします。(望)【別紙参照】



昨年は雨天が続き、自然観察会やスケッチ大会が中止になってしまいましたので、三角島ガイドブックの完成に合わせて、3月23日に春の自然観察会を開催しました。参加者は約20名で、メンバーが交代で地形、歴史、動植物、プロジェクトの歩みなどを紹介しました。身近にある三角島の自然を再認識していただけたものと思います。また、3月15日は永年の三角島の環境維持活動に対して阿部知事より感謝状をいただきました。

7月28日には夏の自然観察会、9月7日には自然を描く集いを開催しますので、大勢の方のご参加をお待ちしています。尚、参加者には、作成した三角島ガイドブックを差し上げます。(場)【別紙参照】



活動報告① 信州花フェスタ～安曇野屋敷林ウォーク

元号が「令和」に代わり新しく希望の期待も高い時期に松本市を中心とした「信州花フェスタ2019」が去る6月25日まで開催。国内外からの見学者は約70万人を超えて盛会のうちに終了いたしました。国営アルプスあづみの公園もサブ会場として多様なイベントがあり、ふるさと応援団がガイド役となる「里地、里山ガイドウォーク」が、5月19日と6月9日の両日に開催されました。

5月19日は穂高口集合で歴史のある「穂高牧地区」。屋敷林、道祖神巡りをしながら安曇平で信仰の厚い満願寺まで、新緑と信仰の跡の残る参道、ツツジの満開の境内を参加者と共に歩きました。6月9日は堀金口集合で扇状地の残る「堀金岩原地区」。田植え後の水田、水鏡に映る常念岳を見ながら、扇町の大きな屋敷林の見学を行程の中に取り入れ、参加者にとっては初めての地域を、折々の案内を加えながらの散策となりました。

2日間共、国営公園で飼育している「天蚕：やまこ」の圃場と幼虫の生育状況、糸になるまでの作業等について、理事で天蚕農家の古田さんから詳しく説明を受け、参加者全員が感銘を受けたようでした。地元の景観、屋敷林の保全、天蚕の飼育状況をそれを守る人の御苦勞を感じることが出来とても有意義な2日間になったと思います。



「ふるさとパートナー」更新のお願い《重要》

2018年度「ふるさとパートナー」の会員期限は3月末となっています。2019年度の継続には年会費1,000円が必要となりますので、別紙案内を確認の上、是非会員の継続をお願いします。尚、7月末までに更新手続きがされない場合は、パートナー通信の発送を一旦停止させていただくことになりますので、早めの手続きにご協力をお願いします。

